

# 出前授業 【一般市民】

N0	教員氏名	学部	学科	職位	キーワード、タグ	出前授業のテーマ	テーマの概要
1	阿部 知願	理工学部	生物科学科	教授	細胞生物学、発生学	①粘菌のはなし ②細胞性粘菌の世界 ③バイオアッセイ：生物を使った化学物質の検出の方法	
2	太田 尚志	理工学部	生物科学科	教授	生物海洋学、浮遊生物学	①ミズクラゲ大量発生時の仕組み ②植物プランクトンはなぜ小さい？ ③貝毒プランクトン	
3	角田 出	理工学部	生物科学科	教授	魚類生理・病理学、養殖学、食と環境の科学	①魚の養殖・健康、食の安全を支える技術 ②環境ホルモン・ネオニコチノイド系農薬の影響について考える ③森と海をつなぐもの ④陸上養殖を進める意義は？ ⑤魚の隠れた力にググッと接近！	
4	指方 研二	理工学部	生物科学科	教授	人間電池になってみる！	①人間電池になってみる！ ②環境にやさしいエネルギーと電池	①電池にまつわる歴史を概観し、身の回りのものや人間が電池になってしまおうのを体験してもらいます。 ②我が国のエネルギー事情を概観し、脱炭素にむけて電池が果たす大きな可能性についてお話しします。
5	柴田 清孝	理工学部	生物科学科	教授	生化学、分子生物学	新しい薬をつくる -ゲノム創薬-	ゲノム創薬とは、遺伝子発現調節におけるゲノム情報の蓄積によって新薬の開発を目指すものである。
6	高橋 計介	理工学部	生物科学科	教授	二枚貝、水産養殖、健康評価	①二枚貝の体を守るしくみ -基礎と応用- ②カキとノロウイルスは本当に関係あるのか ③カキは生で食べる？火を通す？ 食文化の視点	
7	玉置 仁	理工学部	生物科学科	教授	環境生態学、海藻藻類学	①藻場のはなし ②干潟のはなし ③災害と水環境	
8	奈良 英利	理工学部	生物科学科	准教授	細胞生物学、動物形態学、免疫学	①筋肉は忙しい！ ②社畜半島のニホンジカの動向をPCR法で探ってみた ③短期間の体にはいい運動とは？マウスモデルの研究から	①筋肉は単に運動や体を支えるだけの働きをしているわけではではありません。実は様々な体にはいい物質を作っていることがわかってきました。さて、どのような効果があるのでしょうか？ ②ニホンジカは良い餌場を求めて移動をします。社畜半島のニホンジカはどこからどこに行くのかPCR法で調べました。PCR法とはどういうものか結果について説明します。 ③体にいい運動とはどういったものなのでしょうか？また長続きしない三日坊主タイプのヒトはどうなのかな、マウスを使った実験結果から説明します。
9	根本 智行	理工学部	生物科学科	教授	植物、花、生物多様性	①花のしくみとはたらきを知る ②植物標本の大切さや作り方 ③花の見方・果物の見方	
10	前田 敏輝	理工学部	生物科学科	教授	物性物理学	①ソフトマターとは何だろう ②原子力災害と避難に関する基礎知識	
11	宮崎 厚	理工学部	生物科学科	教授	カビ、菌類、細胞壁	①ちょっと変わったカビの世界 ②細胞壁の話 ③菌類を知ることから始めよう！	①動物の糞上に発生するヒゲカビの特徴を紹介します。 ②生物による細胞壁の違い、細胞壁の多様な役割について解説します。 ③学校で扱う教科書では記載の少ない菌類に関して、分類、基本構造と生活環、多様な生き方、人との関わりなど、広く紹介します。
12	柳 明	理工学部	生物科学科	教授	細胞生物学、遺伝学、発生生物学	①ゾウリムシの話 ②原生動物に関わる話 ③生物をつくる細胞に関する話	
13	山崎 達也	理工学部	生物科学科	教授	触媒、ナノメテリアル、バイオエタノール	①バイオエタノールをどうやって利用するか？ ②触媒とは、一そのはたらきと役割 ③ナノメートルサイズの空間をもつ材料の機能	
14	阿部 博和	理工学部	生物科学科	准教授	海洋生態学、無脊椎動物学、系統分類学	①身近な海に住むベントスの暮らし ②動物の系統分類と進化 ③干潟の生物多様性とその保全	①海や川、湖、池などの水域の底で生活している生物をベントス（底生生物）といいます。海洋のベントスには陸上や淡水域には生息していない多様な動物がいて、独特な生態をもつものも少なくありません。干潟や磯など身近な海に住むベントスの暮らしを紹介します。 ②動物はおよそ34のグループ（動物門）から構成されています。そのうち、脊椎動物以外は背骨をもたない無脊椎動物です。動物の主要なグループの特徴を進化という概念に基づいて整理することで、現在の地球上の生物多様性を形作ってきた動物進化の歴史のあらすじを紹介します。 ③これまで行ってきた調査や研究活動をもとに、干潟における生物多様性や希少種の生息状況、干潟が置かれている現状やその保全について解説します。
15	鈴木 英勝	理工学部	生物科学科	教授	加工廃棄物、地域に眠る美味しいもの、魚介類に付く寄生虫	①怪獣は何を食べているのだから？ ②これ食べても大丈夫？身の回りに潜む寄生虫の話 ③石巻で食べられる未利用・低利用・深海魚	①空想上の生き物（怪獣）を題材にし、既存の生物学と水産学の知識を応用して何を食べているかを推定する ②島国日本では食料の一部に海産物を多く摂取している。その中に潜む寄生虫を面白がりやすく説明する ③石巻の魚市場み水揚げされる魚の中で、魚屋に並ばないレアで美味しい魚を紹介します。
16	辻 大和	理工学部	生物科学科	准教授	動物生態学、霊長類学	①身近な自然の生き物のつながりを知る ②野生動物の交通事故・ロードキルについて学ぼう ③動物の骨を観察してみよう	
17	中川 麟	理工学部	生物科学科	准教授		遺伝子組換え食品とゲノム編集	遺伝子組換え食品や作物、ゲノム編集について基本的な知識と動向について情報提供を行う。
18	鳴海 史高	理工学部	生物科学科	准教授		右手の分子と左手の分子	鏡像（光学）異性体とは何なのか、生体機能とどのように関連しているのかを説明する。
19	渡辺 正芳	理工学部	生物科学科	准教授	幾何学、数理生物学、科学教育	①ピカチュウの寿命?! ～数理の手カで生物をカガクする～ ②ぐにゃぐにゃと数学入門～医療・ファッション・ドラクエに隠された数学～	①サトンの肩にちょこんと乗っているピカチュウ。「指数と対数」を使って、寿命を予想してみましょう。 ②〇と△を同じと思う何が起きる？「トポロジー」という不思議な数学の世界を紹介します。
20	足立 岳志	理工学部	機械工学科	教授	材料強度学、材料工学	①材料と歴史 ②物が壊れるとは ③材料の腐食	①物・道具などの原材料は、歴史を紐解くと人類の生活・社会の発展に大きな影響を及ぼしています。人類の歴史にどのように関わっているかを説明します。 ②物が壊れると、多くの人命が失われることがあります。なぜ壊れるか、壊れないようにするにはどうすればいいかを解説します。 ③鉄は錆びるため、昔の鉄製品は残っているものは少ないです。錆びること、つまり腐食は材料にどのような影響を及ぼすかを解説します。
21	梅山 光広	理工学部	機械工学科	教授	SDGs まちづくり・将来モビリティ・再生可能エネルギー	①SDGs 未来都市づくり・自動運転モビリティ・再生可能エネルギー ②社会問題解決と新価値創造・未来地図づくり	①安全・安心で人優先の都市のあり方、簡易な自動運転、再生可能エネルギーについて解説する。 ②地域の問題に丁寧に取り組み、若い世代の価値感を優先し、未来に引き継いで行ける都市を作る。
22	尾池 守	理工学部	機械工学科	教授	航空宇宙工学、トライボロジー	①ロケットを安全に飛ばす ②トライボロジーの世界 ③グリーントランスフォーメーション (GX)	①日本のロケットH-2、3の開発に基づいて、ロケットを安全に飛ばす方法について概説する。 ②摩擦や摩耗のメカニズムを説明し、モノを円滑に動かすための潤滑について概説する。 ③太陽光・風力等の再生可能エネルギーや水素エネルギーの活用について概説する。

NO	教員氏名	学部	学科	職位	キーワード、タグ	出前授業のテーマ	テーマの概要
23	亀谷 裕歌	理工学部	機械工学科	教授	機構、機構、製品開発	①産業革命と機械工学の誕生 ②新製品開発物語。 ③特許の制度と実例	①蒸気機関の発明と普及で社会を変えたのが産業革命ですが、同時に誕生したのが機械工学です。この二者は持ちつ持たれつで現代社会を築いてきました。 ②商品の企画から試作、量産、消費者に届くまでをどんな人たちが関わって、どんな手順で生み出されるのかを中心にドキュメンタリータッチで語ります。 ③発明家だけでなく特許を知るとなれます。製造業だったらトラブル回避に必須です。私の経験した実例を交えて解説します。
24	三木 寛之	理工学部	機械工学科	教授	機能性材料、省エネルギーデバイス、環境発電デバイス	身近な機能性材料と機械	機能性材料とは何か、新しい機械を作るにはどうすればよいかについてお話しします。
25	水野 純	理工学部	機械工学科	教授	MEMS、マイクロマシン、ロボット	①あなたの毎日を支えてくれる大切なMEMSデバイス ②実践的に学ぶロボット工学	①今、我々のポケットの中にも知らないうちにマイクロマシンがひそんでいます。例えば、携帯電話のマイクやスマホを回転したときに、その動きを感じ画像を「クルル」と回すもの。また、カーナビで車の位置・姿勢を常に教えてくれるもの。これらのもので支えられてマイクロマシンである。マイクロマシンとは、半導体製造技術に基づいて造られたマイクロレベル構造を持つ超小型電気機械部品またはシステムです。日本では、「マイクロマシン」と呼ぶことが多いですが、「MEMS」(Micro Electro Mechanical System: 微電気機械システム)と呼ぶ方が一般的です。現代社会において、MEMSが携帯電話、自動車、ロボット、医療機器の様々な分野で使われるようになり、我々はより便利、安全かつ豊かな生活ができるようになった。MEMS(マイクロマシン)が日常生活においてどれくらい大切なものであることに皆様が気づいていただければ、本授業の目標達成となると考えます。 ②幅広い年齢層を対象とする授業のため、理解度を高める工夫として、受講者の理解を促しながら進め、内容説明の仕方と進捗具合の確認を行う授業である。授業は基本的にパワーポイントを使用する形態であり、ロボットの動きや仕組みなどをビデオで説明することにより理解度を高めるような工夫も行っている。授業内容として、最近私の研究室で開発した3軸デジタル加速度センサを用いた水準スタビライゼーションシステム。赤外線距離センサとリニアアクチュエータのフィードバック制御システム、MEMSマイクロミラーによる簡易遠視検査システム等に加え、当研究室で実施しているロボット工学教育用研究内容について述べる。ロボットの機構・電子的な仕組みやそれを制御するための最新のMEMS型加速度、ジャイロセンサ、曲げセンサ、無線通信デバイス、マイコンボードなどについて解説しながら、本学で設計・製作したロボットの動作などをビデオで紹介し、受講者にとって非常にわかりやすい授業を行う。
26	高橋 智	理工学部	機械工学科	准教授	機械工学、材料力学、デジタル工作機器	①機械が感じるストレス ②デジタルものづくり入門 ③スパゲッティータワー	①人間と同じように機械にもストレスが存在します。ストレスの詳細や対策について解説します。 ②3Dプリンタをはじめとするデジタル工作機械を使ったものづくりを体験してみましょう。 ③スパゲッティを使って頑丈で高いタワーを設計、製作してみましょう。
27	工藤 すばる	理工学部	情報電子工学科	教授	電気、実験、自動車	不思議な石ころ	高度情報化社会で目に見えないところで活躍している不思議な石ころ(機能性セラミックス)とその応用について紹介いたします。
28	中込 真二	理工学部	情報電子工学科	教授	半導体工学	①ワイドバンドギャップ半導体とその応用 ②半導体の歴史	①ワイドバンドギャップ半導体とは何か。どんないいところがあるのか。どのように使われているか。 ②私たちの生活で必要不可欠な半導体。それがどのように生まれ、開発されてきたかを振り返る。
29	本田 秀樹	理工学部	情報電子工学科	教授	電力工学	①電力システムの供給信頼度 ②再生可能エネルギーと電力品質 ③電力システムの雷被害対策	①世界の先進国のなかでも特に電力の供給信頼度(停電が少ない)が高い我が国の電力システムについて概説する。 ②気象条件に影響を受ける太陽光、風力などの再生可能エネルギーを大量に導入した場合に電力品質(電圧変動・周波数変動・停電の多さ)にどのような影響が生じるかを概説する。 ③我が国、特に東北エリアでは50年前から現在まで、停電の要因で最も多いのが雷である。停電抑制に向けた雷被害対策について概説する。
30	安田 隆	理工学部	情報電子工学科	教授	半導体工学、電子・光物性	①発光デバイスの世界 ②現代社会を支える半導体材料	
31	木村 健司	理工学部	情報電子工学科	准教授	グラフ理論、パーチャリリティ、アルゴリズム	①グラフ理論 ②パーチャリリティ ③アルゴリズム	①バズルや生活の中で使われている数学(グラフ)について、説明します。 ②学生が開発したパーチャリティアリティのアプリの紹介や開発体験をしてもらいます。 ③数学当り、一筆書き、最短路などの問題を効率よく解く方法について説明します。
32	野竹 孝志	理工学部	情報電子工学科	准教授	核融合、量子光学	①不思議な量子もつれと量子コンピュータ ②見えないものを見る研究	
33	李 東勲	経営学部	経営学科	教授	マーケティング、流通、まちづくり	①地元特産品を活用した新製品開発について ②売れる仕組みとは何ぞや	①ゼミナールの課外活動を用いて「新製品開発プロセス」について分かりやすく説明する。 ②営業と販売の違いについて明確に説明する。
34	岡野 知子	経営学部	経営学科	教授	財務会計、税法、簿記、会計教育	①事業承継と中小企業経営を考える ②だれにでもわかる簿記講座	
35	庄子 真岐	経営学部	経営学科	教授	観光、地域、まちづくり	①観光資源を見つけよう ②まちづくりの延長に観光あり ③Withコロナ、After コロナの観光を考える	①地域にあるモノやコトに注目し、観光資源になるものを一緒に考えていきましょう。 ②観光とまちづくりを調和させ、各主体がWinWinになる関係を考えていきます。 ③Withコロナ、After コロナにおける危機管理、観光ニーズの変化とその対応についてお話しします。
36	菅原 玲	経営学部	経営学科	講師	持続可能、ライフスタイル、生業	①地場産業を見に行こう ②工芸・手しごと・地域との関係 ③資源と暮らしの関係～ライフスタイルは変えられるか?	①宮城県や東北地方の地場産業、地域産業を知り、様々な生業(なわい)があること、また地域が抱える課題や、歴史との関係などから地域性を学びます。 ②工芸と伝統工芸の違いは何か?暮らしとの関係や循環型の資源・生業との関係を実際の事例から学びます。 ③環境に影響を及ぼす暮らしとは何か?暮らしを支える工業製品に必要な資源はどこからくるのか?その関係性を学びながら、心豊かで持続可能なライフスタイルを考えます。
37	杉田 博	経営学部	経営学科	教授	経営学	①経営のトライアングル ②経営学はどこから来たのか、どこへ行くのか	
38	丸岡 泰	経営学部	経営学科	教授	途上国、コスタリカ、復興	①経済発展と観光 ②災害復興とツーリズム ③途上国はなぜ貧しいか ④国際関係の虚実 ⑤世間の常識は本当か	
39	三森 敏正	経営学部	経営学科	教授	会社法(商法)、金融商品取引法、民法	①会社における法律問題 ②個人情報に関する法律問題	
40	茂木 克昭	経営学部	経営学科	教授		①社会における金融の役割 ②EUの通貨の統合について ③現在の金融政策について ④なぜ超金融緩和が続くのか ⑤為替相場はどのように決まるのか	
41	森 尊文	経営学部	経営学科	助教	グローバル企業、イノベーション・エコシステム、企業戦略	①イノベーション、起業家について ②地域が立地優位性を手に入れるためには?	
42	矢邊 均	経営学部	経営学科	教授	法常識、法と政治、学び	①目からウロコの法常識「法(ホ〜)そうだったのか!」 ②社会を法と政治から眺める ③大学で学ぶことの意義	①法律を難しくするのはなぜ?実は法律の専門家!気づいていないだけで法律は意外に面白い!法アレルギー症状を「法律のこころ」を理解することで治療します。 ②社会の見方はさまざまですが、特に制度やその仕組みから考えてみましょう。 ③大学も発明のひとつだといわれていることを知っていますか?過去から未来をつなぐ大学というところで学ぶ意義について考えましょう。
43	浅沼 大樹	経営学部	情報マネジメント学科	教授	経済学 地域経済	①失敗しないための経済学的思考方法 ②地元をちょっとと熱くする経済学 ③将来役立つ金融知識	

N0	教員氏名	学部	学科	職位	キーワード、タグ	出前授業のテーマ	テーマの概要
44	工藤 周平	経営学部	情報マネジメント学科	教授	競争戦略、ビジネスモデル、プログラミング	①企業はいかに競争しているか ②企業のビジネスモデルを考える	①企業の競争戦略、製品・サービスの価値を高めるためのポイント、競争にうまく対応するために大事なこと、競争状況の分析方法を考える ②企業はどのようなビジネスモデルを構築しているのか、ビジネスモデルで重要なことは何か、ビジネスモデルの構築方法について考える
45	関根 慎吾	経営学部	情報マネジメント学科	教授	会計学、簿記論、商業科教育	①教養としての商業教育 ②貨幣を会計学的に考える	
46	湊 信吾	経営学部	情報マネジメント学科	教授	情報処理	①データサイエンス ②人工知能に関わる情報処理 ③ビットコインの仕組み	
47	中山 愛子	経営学部	情報マネジメント学科	特任准教授	地域経済、データ分析、地域政策	これからのまちづくり	
48	三橋 勇太	経営学部	情報マネジメント学科	講師	観光、情報科学、認知心理	①情報科学を用いた新しい観光政策 ②視線から学ぶ観光心理・消費者行動	
49	恵原 貴志	人間学部	人間文化学科	教授		人間の脳に電流を流す	頭皮に電極を付け頭蓋骨を介して脳に電流を流すことにより人間の能力を向上させられるか？という研究が実在する。
50	大嶋 道子	人間学部	人間文化学科	教授	アメリカ文学、英語教育	①英語多読について ②世界の英語について ③戦後のアメリカ児童思春期文学	①英語多読の成果について理論と研究の紹介後、実際に絵本の多読を体験します ②英語の使用人数の今後、国や地域による英語の違いとその背景など、学校ではあまり習わない英語の諸側面について ③第二次世界戦後のアメリカ児童思春期文学の移り変わりや時代背景との関わりについて
51	松崎 俊之	人間学部	人間文化学科	教授	美学、芸術学	①日本は西洋からどのように表象されたか ②だまし絵の世界 ③音の風景を聴く	①プッチーニのオペラ《蝶々夫人》を題材として、日本は西洋からどのように表象（イメージ）されてきたかについて考える。 ②「だまし絵」とは何かを考えるとともに、「だまし絵」と対比することで虚構的芸術としての絵画について考察する。 ③われわれが普段耳にしている環境音をいわば一種の音楽として聴くことで開ける豊かな世界について論ずる。
52	山内 武巳	人間学部	人間文化学科	教授	睡眠、健康、アウトドア	①睡眠の大切さ ②登山の健康効果 ③シーカヤックの健康効果	
53	輪田 直子	人間学部	人間文化学科	教授	中国文学、初級中国語	①歴史を「物語る」ー三国志の世界 ②日本人が楽しく学べる中国語 ③小説に見る現代中国の世相	①「三国志」には、様々な異説があります。奇想天外な物語から中国の庶民の文化を学びます。 ②日本語とは全く異なる面白い漢字の意味、未知の魅力的な発音に触れてみましょう。 ③激動の現代中国をリアルに、シニカルに描き、時に発禁にもなってしまう小説を紹介しします。
54	高橋 幸	人間学部	人間文化学科	准教授	ジェンダー、セクシュアリティ、社会学	①セクハラ・パワハラを基準を具体的に事例を元に考えるー多様なセクシュアリティ・ジェンダー包摂的な社会に向けて ②性別をめぐるアンコンシャス・バイアスとは何か？	①「セクハラやパワハラがダメだ」ということは分かっているが、具体的にどのような行動がそれに該当するのか、そしてなぜそれが問題なのかについては、「なんとなく」「雰囲気的に」しか理解できていないのではないだろうか？本セミナーでは、そこを論理的に説明し、セクハラ・パワハラを基準を明らかにしていく。 ②批判され続けてもお残っている「女らしさ」や「男らしさ」規範。それらの何が問題なのかを具体的に解説する。その後、どのような「女らしさ/男らしさ」規範が問題であり、どのような物であれば問題がないのかを、参加者で議論しながら丁寧に考えていく。
55	西川 慧	人間学部	人間文化学科	准教授	文化人類学、イスラーム、インドネシア	①知られざる！？イスラームの世界とムスリムの生活 ②文化人類学の読み〜異文化の視点から見ると私たち ③「多様性の中の統一」〜インドネシアの人と文化	①イスラームの教義とムスリムの人たちの生活について、理念と実践という視点からお話したうえで、ムスリムとの共生についても考えていきます。 ②文化人類学がどういった学問で、その視点から私たちの生活を振り返ると現代社会を生きていくうえでどんなヒントがあるのかお話しします。 ③民族も文化も多様なインドネシアの人たちの生活について紹介したうえで、私たちの生活とどのようなつながりがあるのかお話しします。
56	木下 卓弥	人間学部	人間文化学科	講師	社会教育、生涯学習、地域づくり	協働・協同を支える学びや地域づくり	地域は、生活圏としての空間にかぎらない。家庭、学校、職場など多様なコミュニティが存在している。では、コミュニティ（地域）のなかで、どのように人々が同じ目的をもって、協同的に暮らしをつくるのか。そのヒントを社会教育実践の歴史から学ぶ。
57	奥山 勉	人間学部	人間教育学科	特任教授	算数教育、学力向上、数学的な見方・考え方	①算数嫌いを起こさない指導のあり方 ②幼稚園や保育所での数や図形についての遊びについて	①小学校の学校現場を対象にして、算数嫌いや苦手意識をもち始める子どもたちへのアプローチや授業のあり方について ②小学校算数につながるような、日常の遊びや体験プログラムを行う。
58	近藤 裕子	人間学部	人間教育学科	教授	作曲・編曲、音楽理論	昔、子どもだった人たちがへー次世代に残したい音楽との出会い	歌い継ぎたい子どもの歌を、作曲されたエピソードを交えながら歌ってみましょう。
59	佐藤 正恵	人間学部	人間教育学科	教授	発達・臨床心理学	①特別なニーズをもつ人への理解 ②放課後児童クラブの課題	①発達障がいをもっている方々への理解を深める授業を行い、共に支援のあり方を考えたい。 ②放課後児童クラブの困難事例への対応などについて、支援員とともに考えたい。
60	新福 悦郎	人間学部	人間教育学科	教授	教育実践学、人権教育、社会科教育、学校安全	①人権と法で深める学校安全 ②判決書で深める人権教育	①いじめ問題や学校事故、防災教育について考える。 ②子どもの権利やハンセン病問題などについて学ぶ
61	高橋 寛人	人間学部	人間教育学科	教授	教育学	①高校に居場所カフェをつくらう！ ②子ども・若者の居場所づくりに必要なこと	①高校内居場所カフェについて説明。タダでドリンクを飲んだりお菓子を食べられるカフェを開き、若者支援団体のスタッフやボランティアと交流するなかで、生徒が主体的に困難を克服して行動できるような支援する。 ②共編著『居場所づくりに必要なこと』（明石書店、2019年）にもとづいて、子ども・若者にとっての居場所の意義、居場所の作り方などを解説。
62	横江 信一	人間学部	人間教育学科	特任教授	学級経営、特別活動、総合的な学習の時間、キャリア教育	①「ゲーム依存」から子どもを教えるか ②信頼関係を築くコミュニケーション力の育て方	①ゲーム依存の実態やゲーム障害の兆候をもとに、学校や家庭、地域が子どもへの対処としてできることや日常生活の中で改善できることを提案する。 ②アイスブレーキング、GWT(グループワークトレーニング)、p.4c(子どものための哲学)を組み合わせた討議の二重方式を提案した人間関係づくりを行う。
63	高橋 有香里	人間学部	人間教育学科	特任准教授	保育学、子育て支援	①子どもも大人も楽しめる絵本の世界 ②肩の力が抜ける子育てのヒント	①様々なジャンルの絵本や、絵本にまつわるエピソードの紹介 ②ワークシートやディスカッションを用いて、自身の子育てを前向きに振り返る
64	新鶴田 道也	人間学部	人間教育学科	助教	理科教育、科学教育、理数探究	①スマートフォンを使った大気圧の測定 ②スライムの教材化 ③輪ゴムを使った教材研究	①スマートフォンやタブレット端末を使って大気圧の変化の測定を試みます。 ②子どもたちに人気のスライムを教材化する場合には必要な教材論的視点について学びます。 ③輪ゴムを使った教材について、対象（幼児から高校生まで）を想定して教育的価値を考えます。

N0	教員氏名	学部	学科	職位	キーワード、タグ	出前授業のテーマ	テーマの概要
65	高橋 功祐	人間学部	人間教育学科	助教	体育学、健康科学、発育発達学、測定 評価学	①体力・運動能力の測定評価 ②生活習慣と健康管理 ③身体組成の測定	①幼児期の子どもから高齢者までを対象に、体力・運動能力を測定します。得られた結果をもとに課題の整理や改善点の提案を行います。 ②健康的な生活習慣とは何か。健康管理のためにどのようなことを気を付けるべきか。年齢やライフステージに応じた健康管理の方法について、科学的な根拠を交えて説明します。 ③体組成計を用いて、脂肪量や筋肉量、推定骨量などを測定します。得られた結果をもとに課題の整理や改善点の提案を行います。
66	山本 雄大	人間学部	人間教育学科	准教授	偏見、差別、不平等	差別を抱いてしまう心理過程を考えよう	差別はそれを向けられた人々に有害な影響をもたらします。では、なぜ、私たちは差別を抱いてしまうのでしょうか。そして、どのような時に差別を抱きがちになるのでしょうか。この講義では、私たちが差別を抱く心理過程について理解を深め、差別を是正するという観点からどのような取り組みが求められるのかを考えていきます。